

一覧詳細

1	対象となるがん	肺がん(非小細胞肺がん)
2	使用される新薬(治験薬)	Furmonertinib
3	実施方法(治験のデザイン)	第III相国際多施設共同無作為化非盲検試験
		A群:Furmonertinib 240 mg
		B群:Furmonertinib 160 mg
		C群:プラチナ製剤化学療法(ペトレキセド+カルボプラチン又はシスプラチン)
		※この治験に参加した患者さんは、A～C群のいずれかの治療を受けることになります。
4	治験に参加いただける患者さんの 身体状況(患者選択基準)  ※患者選択基準の概要の一部で ず。	①組織学的又は細胞学的に確認された局所進行又は転移性非扁平上皮NSCLCを有する。
		②EGFRエクソン20挿入変異の存在を裏付ける有効な結果が記録されている。
		③局所進行又は転移性NSCLCに対し、全身性の抗がん剤(EGFR標的薬による治療を含む)の治療歴がない。
		④非転移性病変に対し、化学療法、免疫療法、あるいは化学放射線療法による治療歴がある場合は、少なくとも12ヵ月間の無治療期間を経ているなければならない。
		⑤中枢神経系への転移があっても、基準を満たしている場合には対象となる場合がある。
		⑥
		⑦
		⑧
		⑨
		⑩
5	治験責任医師	呼吸器内科 服部 剛弘 先生

知的財産権の保護等の理由により、非公開の要望のあった項目については、表中の項目を「-」としています。